

平成 30 年度 事業報告書

(自) 平成 30 年 4 月 1 日

(至) 平成 31 年 3 月 31 日

1. 事業の概況

平成 30 年度は、全国の公共施設（学校・福祉施設・公園・河川等）の健全な緑化推進・環境保全事業はもちろんのこと、被災地の復興支援活動（海岸防災林の再生・桜公園造成・海岸清掃、等）にも、地方自治体や関連団体、関係省庁と連携し、実施いたしました。創立 40 周年記念活動は、ゴルフ場をとりまく環境の健全化を念頭に、松くい虫対策助成や熱中症対策などの事業に取り組みました。

被災された方々のみならず、全国のゴルファーに応援していただいている桜公園も、4ヶ所目として『宮城県県民の森』内に造成できるようになり、10月6日（土）「ゴルファー桜の森 植樹祭」を開催しました。

わたくしたちが取り組む植樹事業や海岸清掃活動では、ボランティアの方々のご協力を得ながら、子どもたちとともに実施することで、次代に向かって育む機会にもなりました。学校教育環境向上のための緑化事業についても、東京都多摩市、及び島根県大田市において学校環境の改善化・美化に協力し、さらには児童たちが地域の方々とともに積極的に緑化活動を推進できるように制服を整備いたしました。

現在の緑化環境、自然環境は設立当初とは目覚ましく変動しております。望まれる支援活動がどのようなものか、常に心を浴わせ取り組みました。

おかげさまで、植樹の数は 42 年を通じ 213.4 万本に達しました。これもひとえに、全国のゴルファー、ゴルフ場、会員皆さまをはじめ、ともに事業推進してくださいました関連団体の方々のあたたかいご理解、ご支援の賜物と衷心より感謝いたしております。

2. 会員増等への取り組み

1. 会員ゴルフ場の維持・拡大

新規入会の勧誘、そして会員の維持に努めてまいりました。厳しい状況ではありますが、会員のご協力を通じて、正会員ゴルフ場の入会をいただきました。

あいにく退会もありました。経営・運営方針の変更が、主な理由です。

2. 賛助会員・寄付金の拡大

イベント開催や「あらまし 2018. 8」の発行、ホームページやフェイスブックを通じた活動報告等によりご寄付をいただきました。

また、ホールインワン・アルバトロスを達成された 102 名の方々からご寄付をいただきました。

3. 事業活動

(1) 地方緑化事業

1. 緑化協力金の配分

平成 30 年 9 月（第 83 回配分・平成 30 年 1 月～6 月緑化協力金分）と、平成 31 年 3 月（第 84 回配分・平成 30 年 7 月～12 月緑化協力金分）に、地方緑化事業費として 35 百万円を[表 1]の各団体に配分しました。

[表 1] ゴルフ場の区分による地方緑化事業費の配分(委託)先 等

ゴルフ場の区分	緑化協力金の配分(委託) 団体	委託事業内容と地方緑化事業費配分額 合計 34,943 千円
①一般 ゴルフ場	都道府県緑化推進 委員会等	公立の小中学校、病院、福祉施設など 社会公共施設への植樹 20,990 千円
②国立公園内 ゴルフ場	国立公園地域内団体等	国立公園等の環境・美化緑化活動 143 千円
③河川敷 ゴルフ場	河川財団	協力ゴルフ場のある水系の河川および その近傍における植樹等 13,810 千円

2. 地方緑化事業

配分した前項の緑化協力金に基づき、各都道府県緑化推進委員会や国立公園地域内団体、公益財団法人河川財団では、緑化推進・環境保全のため、植樹緑化事業を推進いただくと同時に、社会環境の変化に応じ、植樹の他、植栽樹木のメンテナンス、除伐等も事業に取り入れていただきました。

3. 地方緑化事業の規模

地方緑化事業以外に次項で述べる「全国緑化事業」、「植樹緑化事業」、「創立 40 周年記念事業」においても、緑化推進・自然環境保全活動を行っておりますが、特に甚大な地震や台風、洪水に見舞われた被災地支援のための植樹、環境改善、また次代を担う子どもたちのための教育環境緑化等に尽力いたしました。

(2) 全国緑化事業

1. マツ枯れ対策

松くい虫防除対策として、東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林で行う抵抗性マツ苗木の開発・改良の研究に対して助成し、必要とされるゴルフ場や地域に配布いたしました。今年度は全国 24 ゴルフ場から申し込みを受け、5 年生抵抗性アカマツ（樹高 50cm-120cm）合計 1,400 本を平成 31 年 3 月に配布いたしました。昭和 56 年度より支援を、昭和 58 年度から配布を開始し、毎年継続しています。

2. 緑化貢献の顕彰

ゴルファーの方々を顕彰する制度として平成 19 年度にスタートした「緑化貢献大賞」と「エージシュート大賞」は好評を得ています。それぞれ達成された会員ゴルフ場を通じて、ご希望にともないトロフィーまたはバッグ札を授与し、表彰して

いただきました。平成 30 年度「エージシュート大賞」は 23 名、年間最多プレーの方々を表彰する「緑化貢献大賞」は 20 名でした。

3. GGG 国立・国定公園支援事業

環境省と連携し、国立公園や国定公園において、地域の理解や協力のもと、自然環境の保全を目的としたボランティア団体の健全な活動を支援いたしました。助成対象事業を明確にし、環境省地方環境事務所、または都道府県から推薦が得られた団体の申請を受け、選考委員会で厳正に審査。23 団体を選定し助成いたしました。ボランティア団体の方々からは大変喜ばれ、今後のさらなる活動が期待できます。事務局を一般財団法人自然公園財団にお願いいたしました。

(3) 植樹緑化事業

1. 被災地域に対する緑化再生・環境改善事業

公益社団法人国土緑化推進機構や各緑化推進委員会との協働、特定非営利活動法人などの協力を得、震災による津波等で被害を受けた地域の海岸林再生活動やまちづくりなど、復興を後押しするための支援をいたしました。

(1) 「golfer 未来の森 仙台」維持管理活動 (宮城県仙台市荒浜 2,000 m²)
平成 29 年度に造成したクロマツ 1,000 本の「golfer 未来の森 仙台」を健全に育てるために、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会の協力を仰ぎ、維持管理活動をいたしました。捕植の必要はありませんでした。昨年度、徹底的に雑草除去をしたことで、あまり草は生えず簡単な除草作業で済みました。順調に成長しています。(生存率 94.6% 樹高最大 82cm)。

(2) 「全国植樹祭支援・golfer 未来の森」づくり (福島県南相馬市 1,000 m²)
復興のシンボル事業としての第 69 回全国植樹祭を、平成 28 年度より海岸防災林の再生イベントやプロトナメントを通じ、協賛、応援をしてまいりました。平成 30 年 6 月 10 日 (日)、海岸防災林整備地の会場にて、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、賑やかに開催されました。福島県の復興が加速され、平穏な日常が一日でも早く訪れることを願っています。

(3) セキ浜町菖蒲田浜海岸 清掃活動 (宮城県宮城郡セキ浜菖蒲田浜地区)
宮城県では復興の加速が必須ですが、世界的に大きな環境課題となっている海洋プラスチックゴミ問題についても例外ではありません。昨年に続き今年度も地元の方々から強い要望を受け、仙台唯一の海水浴場であるセキ浜町菖蒲田浜海岸地区の海岸清掃を特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会、及びセキ浜町地菖蒲田浜地区会とともに実施いたしました。

平成 31 年 3 月 24 日 (日)、地元の方々をはじめ、県内のたくさんの親子、イオンチアーズクラブの子どもたち、みどりの少年団、ボランティアの方々など総勢 177 名が集いました。強風吹きすさぶなか、子どもたちはチームごとに、元気に“可燃ごみ”と“不燃ごみ”に分別しながら回収活動に励みました。昼食交流会では、持参のお弁当と地元の方々手製のあたたかいどんこ汁で満腹に

なり、午後はネイチャークラフト活動を楽しみました。また、みどりの少年団は、昨年植樹したサクラ苗木周辺の下刈りや倒木の処理も手伝ってくれました。レジンペレットというマイクロプラスチックゴミを子どもたちが直接探し触れることで、海洋汚染について考える機会となり、同時に海岸に足を向けるきっかけづくりともなりました。

(4) 「golfer未来の森 北官林」維持管理活動 (宮城県仙台市荒浜北官林 1,000 m²)
平成 29 年度にクロマツ 520 本の「golfer未来の森 北官林」を造成しましたが枯損が見られ、平成 30 年 6 月に特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会の協力を仰ぎ捕植しました。また仙台市内の小学校 3 年生 111 名が、喜んで除草活動に協力してくれました。おかげで現在は順調に成長し生存率は 97.1%になりました。(樹高最大 50cm)。

(5) 震災復興植樹祭 IN さんむ (千葉県山武市蓮沼ホ字曙 2,000 m²)
東日本大震災による津波の被害を受けた山武市の県有保安林に、海岸防災林の機能を取り戻すため、平成 31 年 2 月 23 日 (土)、市民の方々、ボランティアの方々とともに、抵抗性クロマツ苗木を 2,000 本植栽いたしました。

2. 健全な緑化・環境教育支援、及び公共施設への支援活動

春季開催の全国植樹祭、秋季開催の全国育樹祭を実施する各都道府県内の学校環境緑化、整備、改善等を支援しました。また、緑の少年団の制服を整備することで、全国植樹祭、全国育樹祭のみならず、地域のさまざまな緑化活動への積極的な参加を促し、未来を担う子どもたちを育む一助といたしました。

(1) 学校教育環境向上のための緑化事業 (東京都多摩市)

第 42 回全国育樹祭 (平成 30 年 11 月 18 日 (日)開催) の開催地域に位置する多摩市立愛和小学校の教育環境改善のため、老木の伐採・剪定、遊歩道の整備、階段づくりを、そして学校名「AIWA」を施した植え込みづくりをし、安全で地域・保護者の方々とも交流できる環境づくりをいたしました。

平成 30 年 4 月 23 日 (月)には記念式典が開催され、記念植樹としてブルーベリーの苗を、児童たちとともに植えました。さらなる活動に期待し、緑の少年団の制服も贈呈しました。

(2) 学校教育環境向上のための緑化事業 (島根県大田市)

第 71 回全国植樹祭 (令和 2 年春季) を開催する島根県内公立小学校の教育環境を改善するため、大田市内の 3 校 (大田市立北三瓶小学校・志学小学校・池田小学校) を支援いたしました。枯損したサクラを伐採し、新たに植栽。そして各学校内敷地の整備。また 3 校の緑の少年団が合同で、三瓶山固有植物をその生育地 (三瓶山西の原) に植栽しました。

平成 31 年 3 月 20 日 (水)には、大田市立池田小学校にて式典を開催し、緑の少年団の制服も贈呈しました。緑化推進活動への更なる活動を期待します。

4. 創立 40 周年記念事業

平成 27 年度下期より実施してきました。海岸林再生支援事業などについては、維持管理も丁寧に推進、そして復興を願う桜公園の造成も継続しました。

1. 「岩手県県民の森」桜公園 (岩手県八幡平市)

平成 28 年度に完成した桜公園の異なる 11 種の桜は順調に成長し、春の開花を多くの方々が楽しみました。今年度は保育作業として、公益社団法人岩手県緑化推進委員会と協力し、4 月には追肥を、そして 10 月には枯損木数本の捕植と野兎等による被害を防ぐための食害防止網を設置いたしました。今後も健全な成長を見守りながら、保育作業を継続します。

2. 「霊山こどもの村」桜公園 (福島県伊達市)

平成 29 年度に完成した「霊山こどもの村」の桜公園に、平成 30 年 8 月 7 日 (火) には、ご寄付くださった方々のお名前 (希望者) を銘板に刻印し設置いたしました。また、サクラが健全に成長するように公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会緑化推進局と協力し、保育作業を実施しました。7 月には下刈作業を、11 月には雪対策として竹支柱の点検や結束を行いました。今後も保育作業を継続します。

3. 宮城県県民の森「ゴルファー桜の森」づくり (宮城県富谷市)

平成 25 年度より被災地域において憩いの『桜公園』の造成を推進しています。「ふくしま県民の森」、「岩手県県民の森」、「霊山こどもの村」のそれぞれ敷地内に、完成しました。

今年度は新たに「宮城県県民の森 (四季の森)」内、約 0.5ha を造成地として推進しました。

平成 30 年 5 月には、現地視察及び宮城県との会議を経、「みやぎの里山林協働再生支援事業」の趣旨に賛同し、平成 30 年 8 月 30 日 (木) に協定書を締結。サクラ苗木を約 300 本植栽し「ゴルファー桜の森」を造成する計画です。県内外の人々が、交流、そして楽しめる遊歩道となる将来の桜名所にいたします。ご寄付くださいました方々のお名前 (希望者) を銘板に刻印、設置できるように命名権の契約も平成 30 年 9 月 26 日 (水) に取り交わしました。

10 月 6 日 (土) には、地元の親子、小さな子どもたちの参加を募り、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会と共催で、式典、植樹祭を実施し、長い期間に渡って楽しめるさまざまな種類のサクラ苗木を 120 本植樹しました。

また「ゴルファー桜の森」誕生記念活動として、『宮城県県民の森クリーンあっぷ大作戦』を平成 30 年 11 月 23 日 (金) 勤労感謝の日に実施しました。「ゴルファー桜の森」や遊歩道の散策を満喫できるように、地元の親子や子どもたち、ボランティアの方々のご協力を得、不法投棄ゴミ等の清掃活動や枯損木の処理作業をいたしました。平成 31 年度 4 月には 180 本のサクラ苗木を植栽する計画です。

4. 「ゴルファー未来の森 山元町」 (宮城県亶理郡山元町 2,000 m²)

宮城県が実施している「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」の事業趣旨に賛同し、宮城県、山元町とともに、平成 28 年度より 3 年計画で山元地区 0.3ha に抵抗性クロマツの「ゴルファー未来の森」を造成しました。平成 28 年度、及び平成 29 年度で合計 1,000 本の苗木を植栽し植樹祭を開催。今年度は 5 月 20 日(日)に、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会の協力のもと、一般親子や留学生ボランティアとともに、抵抗性クロマツ 520 本の苗木を植栽。そして、地元名物のほっきコロッケやいちごを昼食交流会で味わった後は、ネイチャークラフト活動や海岸遊びを思いきり楽しみました。

健全な育成に向け、生育調査及び雑草の除去、捕植作業等も実施しました。平成 28 年度、29 年度分の生育はとても順調です。(生存率：99.8%/96.1% 樹高最大：128 cm/100 cm)今年度植栽分は、水不足や台風等の影響を受け枯損が見られるので、来年度、捕植する計画です。

5. 菌根菌によるマツ苗育成と海岸林再生事業

マツ苗育苗・植栽による健康な海岸の再生を目指しながらも、子どもたちの健全な育成の一助となり、さらには未来の子どもたちが集まり遊べる場の造成に繋がることを願い 3 年に渡って推進しました。宮城県名取ハマボウフウの会「ゆりりん愛護会」と連携し子どもたちの夏休みなどに、マツの播種、育苗の実地体験やマツ苗植栽地の現地見学会を実施。

多くの地元住民や子どもたち、ボランティアの方々とともに抵抗性クロマツ苗やショウロ菌付マツ苗を今年度は 2,222 本、3 年間では 4,330 本植栽いたしました。

6. GGG 松くい虫対策助成事業

ゴルフ場の運営管理を推進しやすくすることで、ゴルフ場の健全な緑化、環境保全の促進を目的に取り組みました。本事業については、メディアを通じても発表いたしました。会員、非会員問わず希望届、申請書を提出いただき、平成 31 年 2 月 28 日(木)開催の審査委員会において公正かつ厳正に審査しました。平成 31 年 3 月末には承認された 54 ゴルフ場へ助成いたしました。

7. アカマツのコンテナ苗生産システムの構築支援事業

昭和 56 年度(1982 年)以降、東京大学大学院農学生命科学研究科付属演習林千葉演習林への研究助成により、全国のゴルフ場に採種園由来の苗木を配布し、その累積本数は昭和 56 年度から平成 27 年度(1982 年-2016 年)までで約 10 万本に達しました。

従来のゴルフ場に適した路地植え式での苗木生産方法の場合、人手や作業量、コストが大きく、生産そのものが困窮しているのが現況です。そこで、ゴルフ場に向けて、望まれる苗木の生産を継続できるようにコンテナ苗に着目し、その生産システムの構築を目的に、同千葉演習林を支援しています。昨年度はコンテナに移植して試行的に育苗し、可能性について検討。コンテナ苗と露地苗、及び直播苗で比較

したところ、ゴルフ場管理に適した樹高の高いマツ苗の生産には、さらに異なるコンテナへの移植検討が必要と判断しました。2年目となった今年度は、種々試験の結果、除草作業の大幅な省力化が可能となりました。同時に2年間の生育で樹高の高い苗を生産できる可能性が見いだせたので、3年目も引き続き生育させ、生産システムの完成を目指します。

8. 熱中症対策事業

ゴルフ場での熱中症が増加しており、ゴルフ界のみならず、2020年開催の東京オリンピックへ向けても大きな課題のひとつであることは周知の事実です。

昨年度より重要性について周知活動を進めてまいりました。広く現状を把握し、対策を検討、対応していくために、ゴルファーの熱中症に関する意識調査をゴルフ場の協力を得、実施しました。集計結果をメディアの方々にご報告し、発信していただきました。

9. 「桜の木ゴルフトーナメント」の実施

ひとりでも多くのゴルファーの方々に当会の活動内容、役割等をいかに周知し、支援者、賛同者を募るかが当会の重要課題のひとつです。そこで、復興支援事業のシンボリック存在「サクラ」をテーマに、桜の咲く平成31年3月22日（金）、「桜の木ゴルフトーナメント」を開催。昨年度、実施したところ、ゴルファーの皆さまに大変ご好評をいただきましたので、今年度も会員ゴルフ場（東条の森カントリークラブ東条コース〔兵庫県〕 / 倉敷カントリー倶楽部〔岡山県〕）に協力をいただきました。

本イベントは、開催決定日からポスター、HP、メールマガジン、SNS（フェイスブック、インスタグラム）等を通じ、一斉に告知。エントリーはキャンセル待ちになりました。毎年、楽しみに参加してくれる方々もいました。

当日は、表彰・懇親会場において、協力ゴルフ場より当会の被災地復興支援や環境保全活動などについて、パネルなどのツールを用い発表していただきました。サクラ色満載の趣向を凝らしたパーティーメニューやスタイル、そして桜の盆栽や桜そばなど桜にちなんだ賞品を提供。当会活動の確かな理解、賛同につながったと同時に終始笑顔の表彰式になりました。有意義で華やかなイベントとして、ゴルファーにも協力ゴルフ場にも大いに喜ばれました。

10. 小学生のための「ゴルフ体験会」の実施

健全なゴルフの普及、ひいては新規ゴルファーの開拓につながることを念じ、神戸市の小学校が開催する「ゴルフ体験会」に協力いたしました。パッティング台や備品、賞品等を提供。趣旨目的に賛同し駆けつけてくれた女子プロゴルファー（若浦みどりプロ）を交え、平成30年12月15日（土）、小学校1年生～6年生及びその父兄も加わり、賑やかに実施されました。本イベントを通じ、ゴルフの楽しさを体感してもらい、ゴルフへの関心、興味を引き出す機会としました。

緑化実績

区 分		平成 30 年度 <small>平成 30 年 4 月 - 平成 31 年 3 月 実績</small>		累 計		
		植樹箇所	植樹本数	植樹箇所	植樹本数	
地方緑化事業	植樹	55	8,601	6,465	1,665,998	
	伐採	4	223	4	223	
全国 緑化 事業	抵抗性マツ苗木配布 (ゴルフ場対象)		24	1,400	2,239	339,492
	サクラ苗木配布等		—	—	410	98,260
	震災 復興 支援	抵抗性マツ苗木植樹	4	4,742	24	24,996
		サクラ苗木植樹	2	125	14	1,844
		広葉樹苗木植樹	1	3	10	7,716
その他		—	—	2	6,000	
合 計		90	15,094	9,168	2,134,529	

5. その他事業

1. ホームページの充実

全国のゴルファーのみならず、どなたからでも当会活動への理解が得られるように、適時ホームページ、フェイスブックの更新、刷新を図っています。

2. ロハスフェスタへの後援・協賛

国民スポーツとしてのゴルフの健全な発展、及び活性化に資するため、今年度も年間を通じ、全開催に対し — ロハスフェスタ万博 2018 SPRING (4月20日～22日/4月27日～30日)、ロハスフェスタ広島 2018 (5月25日～27日)、ロハスフェスタ南港 2018 SUMMER (7月14日～16日)、ロハスフェスタ東京 2018 (9月15日～17日)、ロハスフェスタ淡路島 2018 (10月6日～8日/10月12日～14日)、ロハスフェスタ万博 2018 AUTUMN (11月2日～4日/11月9日～11日) — 後援しました。

また、万博、広島、東京、淡路島の4会場において協賛し、ブースを出展、エコバッグお絵描きコーナーを設けました。多くの親子と楽しいひと時を過ごしてもらいながら、ゴルフ場が環境に貢献していることや被災地支援活動の報告、海岸林再生活動などの重要性、そして緑化の必要性等を理解してもらった機会といたしました。ご参加くださいました方々より、理解、賛同を得、ご寄付もいただきました。貴重な本寄付金は、ロハスフェスタ実行委員会のご希望に沿い、東北緑化支援として海岸防災林の再生に役立たせていただきました。

環境問題への取り組みに対して意識の高い層へ直接アピールし、当会活動への理解や協力が広まりつつあること実感しました。

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

平成30年度 ロハスフェスタ	入場者数	出展数	回収量						
			ゴミ	使用済み 天ぷら油	牛乳 パック	ダウン	小型家電	古本回収 (本de寄付)	紙袋回収
ロハスフェスタ万博2018SPRING 平成30年 4月 20日(金)～ 22日(日) 4月 27日(金)～ 30日(月) 於：万博記念公園(大阪府吹田市)	164,573 人	834 ブース	1,440 kg	600 L	150 kg	120 個	126 台	183 冊	— 枚
ロハスフェスタ広島2018 平成30年 5月 25日(金)～ 27日(日) 於：旧広島市民球場跡地(広島県広島市)	36,118 人	253 ブース	1,440 kg	65 L	80 kg	14 個	42 台	64 冊	— 枚
ロハスフェスタ南港2018SUMMER 平成30年 7月 14日(土)～ 16日(月) 於：インテックス大阪3号館(大阪府大阪市)	23,282 人	1,051 ブース	— kg	30 L	80 kg	6 個	6 台	13 冊	— 枚
ロハスフェスタ東京2018 平成30年 9月 15日(土)～ 17日(月) 於：光が丘公園(東京都練馬区)	46,184 人	287 ブース	940 kg	200 L	100 kg	42 個	— 台	315 冊	— 枚
ロハスフェスタ淡路島2018 平成30年 10月 6日(土)～ 8日(日) 10月 12日(金)～ 14日(日) 於：明石海峡公園(兵庫県淡路市)	29,649 人	296 ブース	990 kg	65 L	20 kg	26 個	— 台	58 冊	456 枚
ロハスフェスタ万博2018AUTUMN 平成30年 11月 2日(金)～ 4日(日) 11月 9日(金)～ 11日(日) 於：万博記念公園(大阪府吹田市)	122,576 人	852 ブース	1,520 kg	600 L	150 kg	73 個	— 台	211 冊	649 枚
合 計	422,382 人	3,573 ブース	6,330 kg	1,560 L	580 kg	281 個	174 冊	844 冊	1,105 枚